

津山高専だより



CONTENTS

カナダホームステイプログラム2024報告書…	2	2024年度秋季スポーツ大会を開催して…	10
令和6年電気学会電力・エネルギー部門大会…	3	新任教員紹介……………	11
トビタテ!留学Japan新・日本代表プログラム…	4	第60回中国地区高等専門学校体育大会…	12
ロボット技術研究部……………	5	第59回全国高等専門学校体育大会…	13
韓日共同高等教育留学生交流プログラム…	6	第60回弥生祭……………	14
内燃機関部 Hondaエコマイルレッジチャレンジへの挑戦…	7	卒業生表彰者一覧・令和6年度就職・進学状況…	15
JSEC2024……………	8	退任の先生のご挨拶……………	16
北辰寮での暮らし……………	9	令和7年度行事予定……………	18

カナダホームステイプログラム 2024 報告書

総合理工学科 4年 情報システム系 息 啓 大

今回、私は令和6年8月から9月にかけて2週間のカナダホームステイプログラムに参加しました。私がこのプログラムに参加した経緯は、英語への苦手意識が高く、その気持ちを変えたいと感じたからです。海外留学は今まで経験がなく初の試みでした。ですので、行く前は不安感がとても強かったです。しかし、蓋を開けてみればそんなことはありませんでした。ホームステイによるホストファミリーとの交流や学校での先生、チューター、一緒に行った仲間たちとの交流は計り知れないくらい私の人生に大きな影響を与えました。特に、ホストファミリーや先生、チューターとの会話によって私の英語への苦手意識がかなり緩和され、英語能力は飛躍的に向上しました。その後の英語のテストでは行く前に比べて得点が高く、安定するようになりました。

他にも、私は、海外に強い抵抗がありました。なぜなら、幼いころニュースで海外の悪い事件ばかりを耳にしていたからです。しかし、その思いを払拭するかのよう楽しい思い出がたくさんできました。留学中に行った観光でそれをよく感じる事ができました。カナダの観光名所はどれも日本にはないような建物や自然ばかりでとても新鮮でした。そして、何よりカナダの人たちは優しく、丁寧な対応をしてくださる方が多かったのでもちろん話しやすかったです。

今回のカナダホームステイプログラムで学んだことは、挑戦によって得られることはとても大きいということです。海外に抵抗を持ち、英語への苦手意識がとても強かった私ですが今回の海外留学によってその二つの項目を克服できただけでなく、好きへと変換されました。このように、挑戦することで今まで自分が思っていたネガティブな気持ちをポジティブに変換することが可能です。挑戦したことがないものに無理だと線を引いて向き合わないことはとてももったいないことだと経験を通して痛感しました。そして、これから挑戦したいが迷っていたことに積極的に取り組もうという気持ちがとても湧いてきました。



令和6年

電気学会電力・エネルギー部門大会

専攻科 電子・情報システム工学専攻 1年 山下 淳

令和6年電気学会電力・エネルギー部門大会におけるヤング・エンジニア・ポスター・コンペティション(YPC)に参加し、「太陽光発電システムにおける過積載の増加が広域の太陽光発電電力予測に及ぼす影響」というテーマで発表を行いました。昨年の優秀賞に続き、今年は奨励賞を受賞することができました。

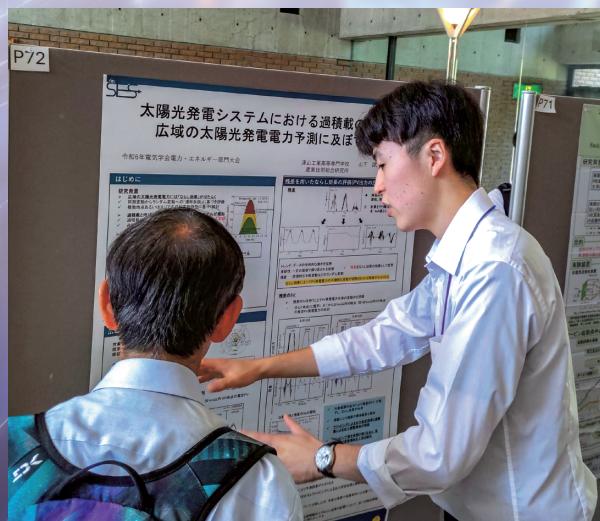
近年の脱炭素化に向けた取り組みの中で、太陽光発電システムの導入が加速しており、特にパワーコンディショナ(PCS)の定格出力より太陽光パネルの定格出力が大きな過積載太陽光発電システムが増加しています。過積載太陽光発電システムはPV発電電力の予測に影響を及ぼしますが、これらが広範囲に設置された場合の影響は知られていないため、桶教授にご指導いただきながら、研究を進めました。

本研究では、産業技術総合研究所から提供していただいたデータを活用し、Pythonによるデータ解析を実施しました。昨年の研究からさらに発展させ、太陽光発電の出力データを30分値から2.5分値に細分化することで、過積載がもたらす影響をより詳細に調査することができました。昨年の経験を活かし、より複雑な分析にも取り組むことができたと思います。特に注目すべき点として、過積載には出力を安定させる効果と出力変動を増加させる効果があり、特定の過積載率においては、これらの効果が相殺し合うという新たな知見を得ることができました。

ポスター発表では、聴衆の方々により分かりやすく研究内容を説明することを心がけました。特に、説明の構成は熟考を重ね、研究の意義や成果をしっかりと伝えられるよう工夫しました。質疑応答では、桶教授との事前練習のおかげで、スムーズに対応することができました。

過積載、ならし効果、予測誤差など、多くの要素を考慮する必要があり困難な場面もありましたが、桶教授のご指導のもと、充実した研究活動を行うことができました。このたび奨励賞を受賞できたことを大変光栄に思います。

今後もこの経験を通じて得られた知識とスキルを活かし、この研究をさらに発展させたいと考えています。



トビタテ!留学Japan新・日本代表プログラム

トビタテ! 洋上風力発電～文化的・地理的観点から見る再生可能エネルギー～

総合理工学科 先進科学系 3年 芦田 拓 巳

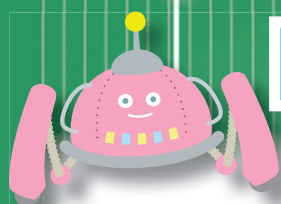
今回私は、文科省主導のもと官民協働で学生の留学意識を向上させるべく行われているトビタテ! 留学Japan新・日本代表プログラムに参加し、2024年8月18日から9月9日までの約3週間イギリスのロンドンに単身で留学しました。このプログラムの魅力は、学生自身が自由に留学内容、渡航先、期間を計画し、実行するところです。私は社会探究コースで再生可能エネルギー（主に洋上風力発電）をテーマとして留学してきました。このテーマを選んだ理由は、気候変動や「クリーンなエネルギーの普及」に興味があり洋上風力発電などの再生可能エネルギーを探究し、もっと多くの人にエネルギーや気候変動についての問題を考えて欲しかったからです。また、イギリスに決めた理由は同じ島国で洋上風力発電が生活の身近なところにあり、再エネが日本よりも広く浸透しているからです。

「トビタテ」の活動は準備が大切です。私はこの留学がうまくいくように最大限準備したつもりです。国内外の洋上風力発電の企業や協会などにメールを30通以上送り、SNS等でも情報を受信していました。山口均先生に、熱意を伝えることの重要性を教えていただいたので、伝わるようにも努力しました。しかし、残念ながら返信が返ってきたのはわずか数件でした。それでも返ってきた数件は大変ありがたかったです。国内では、留学前の勉強として九州大学の洋上風力教育研究センターにアポを取って実際に行かせていただき、実験設備を少し見せていただいたり、大屋裕二先生のお話を聞かせていただいたりしました。イギリスでは、桶先生に紹介していただいた安田陽先生が在籍されるグラスゴーにあるストラスクライド大学にお邪魔させていただいたり、会議を聴講させていただいたりしました。また、ブライトンの洋上風力発電所を見に行くボートツアーに参加し、船長にお話を聞いたり、近くのビジターセンターに行ったりしました。以上のことや航空券、語学学校などを自分で渡航前に準備しました。

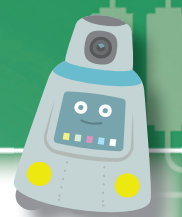
私は、「トビタテ」でたくさんのつながりができました。探究活動では、ストラスクライド大学の安田先生やボートツアーの船長のポールさんをはじめとした親切な方たちのおかげで多くのことを学ぶことができました。また、語学学校でもサウジアラビアやブラジル、韓国などの友達ができ、遊んだり観光したりしました。ホストファミリーは、おいしいご飯を作ってくれたり、安心できるような生活を提供してくれたりと留学生生活を充実させてくれました。さらに、単身留学で不安もあったけれど3週間探究活動が行えたのは、他のトビタテ生が頑張っていたからです。彼らとは留学前ずっと連絡を取り合い、励まし合ってきました。そうしたいろいろな人たちとのつながりを感じられたからこそ、この留学で多くの学びを得ることができたのだと思います。

色々なところに行き、色々なところを見て、たくさんの人のつながりを感じたこの留学は毎日が学びの連続でした。この留学やトビタテを経て得たことをこれからの生活に役立てていきたいなと思います。最後に、留学してみたいけど悩んでいる人にはとりあえず行ってみてから考えることをおすすめします。Let's トビタテ!





ロボット技術研究部



総合理工学科 情報システム系 4年 佐藤 颯太

ロボット技術研究部は9月に高専ロボットコンテスト2024「ロボたちの帰還」に出場しました。今年は、大きな発射台のロボットが小型のロボットをアイテムの設置されたエリアに投げ飛ばし、投げられた小型ロボットたちはそれぞれ箱やボールといったアイテムを回収してから進入禁止エリアを越えて発射台ロボのもとへ帰る、という内容でした。今回のルールで特に注目してほしいのは「ロボットを投げる」という点。このルールには多くのロボコン出場者が頭を抱えました。高電圧のバッテリー、精密に作られた制御回路、それらを搭載したロボットを投げるといいますから、まともに対策をしていなければ、火を噴いたり爆発したり…といったように、我々には正確な動作ができるだけでなく、安全面にも気を配ったロボット作りをする必要がありました。今回もこれまで通りみんなでアイデアを出し合い、津山高専Aチームは効率よく確実に勝利を狙うロボットを、津山高専Bチームは面白いアイデアでロボットを作って…もちろんA・Bどちらのチームもまずは勝利を狙って！大会に挑みました。大会で優勝することはできませんでしたが、A・Bチーム



どちらも全力を尽くして戦いました。その結果、特別賞を受賞することができました。チームによって小型ロボットのアイデアや使い方は全く異なっており、3機が合体したまま移動し、着地後に分解できるロボットもあれば、カブトガニのようにすいすいとフィールドを突き進むロボットも見られました。今年はチームリーダーではありませんでしたが、回路班としてロボットの製作に真正面から取り組みました。高専ロボコンのロボット製作に携わり、技術継承をし

たり、逆に教えてもらったりすることで、これまで持っていた技術をさらに昇華させ、仲間内で互いに技術を高めあうことができました。来年の高専ロボコンでは、新たなメンバーとともに、引き続きより良いロボット製作をし、ロボット技術研究部がさらに発展していったら幸いです。どうかこれからもロボット技術研究部をよろしくお願いします。



韓日共同高等教育留学生交流プログラム



総合理工学科 電気電子システム系 5年 丸尾 天 真



私は、韓日共同高等教育留学生交流プログラムで韓国の大邱にある永進専門大学に、令和6年8月19日から9月4日までの約2週間の短期留学を行いました。留学前は初めての海外ということもあり、不安でいっぱいでした。しかし、韓国に到着すると、現地で大学に通う日本人サポーターや現地の教授が温かく迎えてくれ、安心することができました。宿泊先は大学の学生寮で、大邱市内へのアクセスも良好でした。休日や放課後には、バスやタクシーでショッピングや食事に出かけ、楽しい時間を過ごしました。学校の授業では「IT」と「観光」の2つの専攻があり、私は「IT」を選択しました。同じクラスの韓国の学生は日本語を学んでいるため、言葉の壁を感じることなく、簡単なゲームを作成したり、グループごとにロボットを動かして競う大会を行ったりしました。また、韓国語の授業では、初歩的な韓国語を学び、現地で買い物をしたり食事を注文したりする際に実際に使うことができ、自然に覚えることができました。文化体験では、大邱だけでなく、ソウルにも足を運び、韓国の文化遺産などを見学することができました。さらに、韓国人学生と一緒に食事やショッピングに出かけ、韓国の流行を体験したり、友達を作ったりすることができました。この短期留学を通じて、私は多くのことを学びました。まず、コミュニケーションの重要性を実感しました。ITの授業では、互いに戸惑いながらも、課題を通じて積極的に話しかけ、問題を解決することができました。この経験が自信となり、プログラミングの勉強へのモチベーションにもつながりました。次に、挑戦を通じて多くの価値観に触れることができ、自分の世界を広げることができました。このプログラムには、他の中四国の高専生も参加しており、韓国の文化を学びながら、他の県の文化や高専の様子についても知ることができました。自分にとっては当たり前と思っていたことが、他の人々にとっては新しい発見となり、交流の時間は非常に楽しく、充実したものとなりました。私がこのようにたくさんの貴重な体験をすることができたのは、このプログラムを実施してくださった先生方や事務の方々のおかげです。事前に海外での注意事項を学ぶ機会を設けていただいたり、必要な書類作成の指導をしていただいたりしたことで、安心して留学することができました。本当にありがとうございました。私は、この貴重な経験を活かし、学内の国際交流グループの学生アンバサダーとして活動を盛り上げていきたいと考えています。また、次回は一人で韓国に行くことを目標に、韓国語の勉強にも力を入れていきます。そして、将来に向けて高専で学ぶ専門科目にも真剣に取り組んでいきます。



内燃機関部 Honda エコマイレージ チャレンジへの挑戦

総合理工学科 機械システム系 4年 山口 晴 生

マツダ787B様の塗装を施した内燃機関部の車両は、Honda エコマイレージチャレンジ2019第39回全国大会において、748.181 km/Lの燃費を達成しました。その後も車両の改良開発研究を進め、炭素繊維複合材料（CFRP）製のカウル、アルミフレームを導入し、先輩から引き継がれたノウハウと、独自開発に成功したエンジンコントロールユニットやトルク測定装置などの緻密な装置が配された車両へと進化を続けてきました。梅雨の合間の恵まれた天候の中、鈴鹿サーキットにて開催された第36回鈴鹿大会（2023年）では、16チーム中第3位（燃費：295.959km/L）という快挙を達成しました（Hondaエコマイレージチャレンジ公式ホームページ：<https://global.honda/jp/emc/> 参照）。2024年度の弥生祭では、文部科学大臣 阿部 俊子先生にも活動状況を報告できました。

内燃機関部では、自ら車両開発における問題点や改良点を見出し、本科の卒業研究、全系横断演習Ⅰ・Ⅱ（後期）の活動とも並行しながら学修を続けています。1回あたりの燃料噴射量までもエンジンコントロールユニットにより緻密にコントロールしながら、また、ドライビング技術や公式走行におけるラップタイムや周回数の管理体制についても構築してまいりました。それぞれがそれぞれの役割を、責任をもって果たすことにより素晴らしいチームワークが形成されています。大会中は、早朝3時には起床し、5時頃のゲートオープンに合わせてサーキットへ入場します。その後、選手受付、燃料供給・計測、装備品検査・車検、ドライバーズブリーフィング、練習・調整走行、そして競技会と、それぞれ決められたタイムテーブルのなかで行動することが求められます。事前に全員で打合せを実施し、予定通り問題なく進行することができました。

部活動に専念できる環境を整備いただき、部活動を支えてくださっている顧問の先生方をはじめ本校技術部職員の皆様、後援会・事務関係者の皆様、さらには多大なご支援を賜りました株式会社MGH様、大会関係者の皆様、お力添え賜りました皆様に心より感謝申し上げます。このような恵まれた環境で大好きな車作りができることに心から感謝しています。2017年度より、部活動においても高度な技術水準で、車両の開発・データの収集・改良・知見の公開を実施できるよう、教職員が学生の高度なものづくりおよび研究開発活動を支援するプロジェクトを開始しています。本気のものづくりを通じて、学生の自主性と創造性を涵養し、学外のエンジニア教育を通じて総合能力を育むことを大きな目標としています。引き続き、内燃機関部へのご声援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



JSEC2024

総合理工学科 先進科学系 2年

畑 颯 馬

私は第22回JSEC2024（高校生・高専生科学技術チャレンジ）で協力社賞の一つであるエクシオ賞を頂きました。研究内容はExcelでパスカル三角形に類似した漸化式を作り、その計算範囲を全体に拡大し、特定の数に色を付けることで得られる模様を式に入れた数と対応させて解析を進めていくと、ある条件においてフラクタル図形を得ることができたというものです。他にもその作業によって得られるフラクタル図形に関して様々な解析を行いました。本研究は数学クラブの活動として、松田先生に協力してもらいながら進めました。この研究は主に春休みなどの長期休みを利用し、午前には兼部している卓球部を、午後に本研究を進めていくといった形で進めていったため、作業ばかりの日だと疲れでなかなかうまく進めることができず大変でした。しかしそんな中でも作業により得たデータから新たな法則を得た喜び、またその法則を証明できた時の達成感は何となく、こういった経験が僕自身の研究のモチベーションにつながっていききました。

発表日の当日、僕はもともと緊張しやすいのですがこの日はいつも以上に緊張し、朝から嗚咽が止まらずまともに喋ることができない程でした。それでも自分がしてきたことを堂々として伝えようと考え発表に臨みました。すると、発表をしていくとその緊張は解け、むしろ発表していくたびに、自分の研究を深掘りできていき、自分の研究はこんなに面白いものだったのかと感じるようになっていきました。また発表終了後に審査員の方々から質問が来たときに議論がどんどん進み、新しい観点の発見や、発展できる研究の提案、またそのアプローチの仕方などをしてもらったときは、ほんとに楽しくて、考えなくても言葉が湧き出てくるような感覚で議論することができました。この時、初めて研究は頑張ろうと思ってするものじゃなくて楽しんでできるものだ気付くことができました。



この大会を通し研究の楽しさに気づけたうえ、審査員の方々と楽しく議論させてもらっただけでも自身にとってとても貴重な経験になったと感じました。その上、エクシオ賞といった光栄な賞までもらうことができとてもいい経験ができたと感じています。これからも日々精進をしていき、さらに研究を発展させていけるよう楽しみながら頑張っていきたいと思います。

北辰寮での暮らし

総合理工学科 情報システム系 4年 大澤 凜太郎

津山工業高等専門学校寄宿舎である北辰寮は、学生たちの共同生活の場であると同時に、第二の学び舎として重要な役割を果たしています。しかし、共同生活には新たな土地での学業への期待と裏腹に、特に1年生の間は大変さを感じる人が多いのではないのでしょうか。人間関係について深く考える機会が多くなる一方で、時には家族や故郷が恋しくなることもあります。私自身もそのような経験をしました。

このような不安を感じることは少なくありませんが、北辰寮では上級生が下級生を支える体制が非常に充実しています。例えば、1年生が入寮する際に配属される「3寮」では、指導寮生である3年生が常駐しており、困ったときに助けたり、必要に応じて叱ったりする仕組みが整っています。また、寮には「寮母さん」と呼ばれる方が常にいて、辛いことや悩みがあれば相談に乗ってもらうことができます。

寮生活に限らず、学業面でも多くのサポートがあります。例えば、夜の21時から22時20分までは一斉学習時間が設けられており、勉強のモチベーション維持に役立っています。また、1年生の間は週に1回、「寮内寺子屋」と呼ばれる時間が設けられています。この時間には上級生が勉強を教える役割を担い、課題や授業内容で分からないところと一緒に考えることで、弱点の克服につながります。

現在、私はこの「寺子屋」の講師を務めています。1年生に勉強を教えることは、自分自身の記憶を呼び起こす良い機会でもあり、また一緒に問題を解決したときには大きな達成感を得られます。

北辰寮は学校教育の延長線上にあり、学業への支援が非常に充実しています。私が1年生だった頃はコロナ禍の影響で「寮内寺子屋」は実施されていませんでしたが、それでも勉強時間やその他のサポートは、現在の学業の大きな基盤となっています。

さらに、共同生活を通じて目標に向かって切磋琢磨できる友人を見つけることもできました。この文章を読んでいる中学生の皆さんの中には、寮生活に対して不安を感じている方もいるかもしれません。しかし、北辰寮には皆さんを支える仕組みが整っていますので、ぜひ入寮を検討してみてください。



2024年度 秋季スポーツ大会を開催して

総合理工学科 先進科学系 3年 谷野 仁 美

今年度二回目となるスポーツ大会を、10月23日に開催しました。グラウンド、テニスコート、体育館を使用し、広々と行われてきたスポーツ大会ですが、この度は雨天により、体育館のみでの開催となりました。体育館のみでの開催は歴代初の試みで、十分に楽しめるのかという不安がありましたが、スポーツ大会の運営にご尽力いただいた多くの学生、先生方、学生課の方々のおかげで、盛り上がりの絶えない当日を迎えることができました。急遽競技の変更もあり、多くの学生間で混乱があったとは思いますが、精一杯楽しんでくれた学生には感謝の気持ちでいっぱいです。

午前にはバスケットボールと王様ドッジボールを、午後には綱引きと系対抗リレーを行いました。総合理工学科の1年生から5年生、各学年4系ずつの20クラス（20チーム）と、専攻科の全学年合同の1チーム、合計21チームで試合が組まれています。系対抗リレー以外の3競技は、3チームずつ、7つのリーグ戦があり、各リーグで勝ち上がった7つのクラスで決勝トーナメントが組まれます。系対抗リレー以外の3競技で、特に綱引きが印象に残っています。当初予定していたソフトボールの代替として、どの競技なら代替でも参加しやすいか、準備ができるかなど、考えが練られ決定した競技でした。そのこともあり、観客の熱い応援が印象的で、会場全体の一体感を感じました。また、系対抗リレーでは、各クラスが定番のコスプレをし、会場を盛り上げてくれました。特に盛り上がりのあった王騎将軍コスプレには、MVP賞の授与を行わせていただきました。



勝利を収めたチームの喜びや、惜しくも敗れてしまったチームの悔しさは、学生生活に大きな思い出を残すことになると思います。今後とも、このスポーツ大会の醍醐味を味わっていただけるよう、運営上のトラブルを反省し、改善していけるよう、運動局員一同頑張っていきたいと思います。

新任教員紹介



総合理工学科 機械システム系 助教 近本 彬

こんにちは、2024年4月に機械システム系に着任いたしました近本です。私は愛知県出身で、今回が初めての出身県外での生活となります。岡山県は住みやすく、最近は私にとっても合っている所だと感じています。特に、津山は自然が豊かで、魅力的な町だと思います。もしお勧めスポットがあれば、ぜひ教えてください。

私は機械材料を専門としており、特にプラズマを用いた材料の表面処理について研究をしています。ところで、皆さんはプラズマをご存じでしょうか？プラズマは「物質の第四の状態」ともいわれ、固体・液体・気体に続く状態です。実は、宇宙の99%はプラズマ状態だと言われています。私も大学でこの研究に出会うまでは、プラズマについてあまり知りませんでした。しかし、プラズマを用いた表面処理の研究に出会い、物の見方や考え方は大きく変わりました。皆さんにも、プラズマを問わず研究との素晴らしい出会いをしてほしいと思っています。

私を含めて、津山高専の先生方は学生から研究について聞かれることがとても嬉しいと思いますので、系や研究室を選択する前に興味のある研究室に足を運び、直接話を聞いてみてください。



総合理工学科 機械システム系 助教 近藤 雄大

はじめまして。2024年4月に機械システム系・体育に着任した近藤雄大（こんどうゆうた）です。私は北海道出身でこれまで25年間北海道から出たことがありませんでした。初の仕事、初の本州での生活に楽しみ半分、心配半分でした。津山市という街は、私の地元である旭川市とすごく似ているところがあり、すぐ慣れることができました。今では、好きな食べ物は、そずり鍋、ヨメナカセ、干し肉と答えるくらいです。

私は、体育・スポーツ史、保健科教育史といった主に歴史研究を専門としています。方法は、少し新しく歴史研究×データサイエンスといった手法を用いて、100年前のオリンピックの映像を対象に分析して、「どのように走っていたのか」、「どのように跳んでいたのか」、「どのように投げていたのか」といった人間がこれまで歴史を通じて発展させてきた走・跳・投動作を文献資料と照らし合わせながら実証しています。

津山高専3年次にある全系横断演習Ⅰでは、運動部活動を継続して頑張りたい学生を対象に、自身が取り組んでいるスポーツの技術や戦術に関する研究をサポートしています。勉強もスポーツも頑張りたいという学生を精一杯サポートしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



総合理工学科 特命教授（機能強化支援事業） 立間 淳司

はじめまして、2024年10月に着任いたしました、立間淳司（たつまあつし）と申します。約20年前に津山高専の情報工学科を卒業し、各地を転々として、この度、津山に戻ってきました。久しぶりの津山ですが、津山駅とその周辺の様子がすっかり変わっていて驚きました。津山駅では地下道が封鎖されて跨線橋が架けられ、駅前の映画館は姿を消し、喫茶店や商店街もなくなっていました。津山高専も、外観に大きな変化はありませんでしたが、図書館が2階から1階に移転していたり、教室名が変わっていたりしていて、卒業生であるのにもかかわらず、学内で迷子になることがあります。懐かしさと新しさの入り混じる環境に戸惑いながらも、これまでの経験を活かして、少しでも貢献できたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

第60回

中国地区高等専門学校
体育大会

第60回中国地区高等専門学校体育大会が行われました。

成績は下記のとおりです。※3位以上の成績のみ（赤字は全国大会出場）

期 間：令和6年7月5日(金)～7日(日)

硬式野球競技：令和6年6月28日(金)～30日(日)

水 泳 競 技：令和6年7月14日(日)～15日(月)

主 管 校：呉工業高等専門学校

夏季大会

■陸上競技 令和6年7月5日(金)～6日(土)

男子

200m	第2位	美甘見真（機械4年）
400m	優 勝	横内倅大（先進科学3年）
5000m	第2位	青木佑仁（先進科学3年）
3000mSC	優 勝	青木佑仁（先進科学3年）
4x100mR	第2位	須田悠紀（先進科学2年）
		美甘見真（機械4年）
		原 優貴（情報5年）
		横内倅大（先進科学3年）
4x400mR	優 勝	美甘見真（機械4年）
		正影早途（機械5年）
		平田開都（1年）
		横内倅大（先進科学3年）
やり投げ	第2位	須田悠紀（先進科学2年）

■水泳競技 令和6年7月15日(月)

男子

800m自由形 第2位 川田光太郎（情報5年）

女子

100m平泳ぎ 優 勝 岡田果奈（機械3年）

■バドミントン競技 令和6年7月6日(土)～7日(日)

男子

団体	第2位
個人ダブルス	第2位 竹内一真（機械5年）
	寺尾 尋（情報4年）

女子

個人ダブルス	第3位 原田真宇（機械5年）
	下川遥香（機械5年）

■卓球競技 令和6年7月5日(金)～7日(日)

男子

団体 第3位

■柔道競技 令和6年7月5日(金)～6日(土)

男子

団体	第2位
個人73kg級	第2位 藤井快成（先進科学3年）
個人81kg級	第2位 森下優士（情報2年）

女子

個人57kg級 優 勝 根本菜羽（電気電子2年）

■剣道競技 令和6年7月6日(土)～7日(日)

男子

団体戦	第2位
個人戦	優 勝 岡部侑人（機械4年）

女子

団体戦 第3位

冬季大会

■ラグビー競技 令和6年11月9日(土)～16日(土)

Aパート 第1位
（中四国地区第1代表として全国大会出場）

第59回

全国高等専門学校体育大会

期 間：＜夏季＞競技ごとに異なる

＜冬季＞令和7年1月4日(土)～9日(木)

※ラグビー競技のみ

担当校：＜夏季＞北海道四高専（函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、
釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校）

＜冬季＞神戸市立工業高等専門学校

中国地区大会を勝ち抜いた陸上競技部、柔道部、剣道部、バドミントン部、水泳部、
ラグビーフットボール部が参加しました。成績は以下のとおりです。

夏季大会

■陸上競技

●期 間：9月7日(土)～8日(日)

●会 場：釧路市民陸上競技場

男子 400m **優勝** 横 内 倅 大（先進科学3年）

■柔道競技

●期 間：8月24日(土)～25日(日)

●会 場：函館アリーナ

女子 個人57kg級 **優勝** 根 本 菜 羽（電気電子2年）

冬季大会

■ラグビーフットボール競技

●期 間：1月4日(土)～9日(木)

●会 場：神戸総合運動公園
ユニバー記念競技場

第3位

第60回 弥生祭

総理工学科 先進科学系 4年 山本 凰 嘉

11月2日と3日の二日間にわたって開催された今年の第60回弥生祭は大盛況のうちに幕を閉じました。弥生祭実行委員だけでなくその他の学生や教職員方、地域の人が協力しあい準備したことで弥生祭は大成功を収めたと思います。

今年の弥生祭も様々な模擬店やイベント、校内では文化部や各系の展示物で賑わっていました。一日目は、大雨が降り、一時はどうなるかと不安でしたが、第二体育館を使用した軽音楽部による演奏や歌唱部・吹奏楽部の演奏で日頃の練習の成果を披露しました。学生のエネルギーなパフォーマンスが観客を盛り上げ、会場全体が一体感に包まれました。二日目も第二体育館にて例年通りのカラオケ大会やビンゴ大会、さらに今年からコスプレ大会とダンスパフォーマンスも開催され、大変盛り上がっていました。校内では、各部活や各学科の学生たちが、日頃の研究や実習の成果を発表しました。特に、ロボット技術研究部のロボットや内燃機関部のデモンストレーションには多くの来場者が集まり、津山高専ならではの専門技術を体感していただきました。

弥生祭を終えて、学生たちは「準備期間中に学年や系の枠を超えて協力できた」「来場者の笑顔を見て達成感を得た」と語っており、団結力や自分たちの学びへの自信を深めるいい機会になりました。「次回はもっと工夫したい」といった前向きな意見も多く、今回の経験が次へのステップになることを確信しています。今回の弥生祭は、多くの地域の皆様、保護者の方々、そして関係者の皆様のご支援のおかげで成功を収めることができました。学生たちが日頃学んでいる技術や知識を実際に披露し、皆様にご覧いただけたことを大変嬉しく思います。この経験を糧に、津山高専の学生たちはさらに学びを深め、次の挑戦に向けて努力してまいります。

ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後とも津山高専へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。





卒業生表彰者一覧

本科

賞名	先進科学系	機械システム系	電気電子システム系	情報システム系
優秀賞	前原 拓弥	山本 哲太郎	奥 比加瑠	松永 莉奈
箕作賞	澤田 果歩	竹内 一真	稲田 幸祐	瀬良 瑞葉
日本化学会中国 四国支部 支部長賞	安東 潤一			
畠山賞		佐古 悠真		
電気・情報関連学会 中国支部賞			小林 由来	吉岡 治輝

専攻科

賞名	機械・制御システム工学専攻	電子・情報システム工学専攻
箕作賞	金佐 勇人	八木 唯莉

本科・専攻科

賞名	先進科学系	機械システム系	電気電子システム系	情報システム系	専攻科
弥生会賞	加治 颯太	山田 慶二	米山 苺	鳥取 晴南	小橋 健生



令和6年度 就職・進学状況

令和7年1月31日現在

	先科	学進系	機 シ ス テ ム	械 シ ス テ ム	電 気 電 子 シ ス テ ム	情 報 シ ス テ ム	本 科 ・ 計	機 械 ・ 制 御 シ ス テ ム 工 学 専 攻	電 子 ・ 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	専 攻 科 ・ 計	合 計
学 生 数	38		44		39	48	169	4	13	17	186
就 職											
希望者数	23		25		26	26	100	3	10	13	113
内定者数	23		25		26	25	99	3	10	13	112
進 学											
希望者数	13		17		12	20	62	1	2	3	65
入学予定者数	13		16		12	19	60	1	2	3	63
そ の 他	2		2		1	2	7	0	1	1	8

主な就職内定先

旭化成株式会社、三菱ケミカル株式会社、株式会社日本触媒、花王株式会社、株式会社岡山村田製作所、サントリーホールディングス株式会社、森永乳業株式会社、ENEOS株式会社、ダイキン工業株式会社、シャープ株式会社、ANAラインメンテナンステクニクス株式会社、DMG森精機株式会社、キャノンメディカルシステムズ株式会社、富士フイルム株式会社、中国電力株式会社、株式会社トヨタシステムズ、東芝ITサービス株式会社、NECフィールディング株式会社、三菱電機ソフトウェア株式会社、西日本旅客鉄道株式会社

主な進学予定先

豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、東京農工大学、東京海洋大学、横浜国立大学、筑波大学、奈良女子大学、岡山大学、島根大学、広島大学、山口大学、高知大学、佐賀大学、鹿児島大学



退任の先生のご挨拶

校長 岩佐 健司



今年度3月末で津山高専を退職いたします。私は令和3年4月に本校に着任以来4年間校長として勤務いたしました。着任当時は未だコロナ禍の影響から日常の生活に不安があり多くの学校イベントは縮小されておりました。その後は徐々に通常の生活に戻った感もあり、昨今は学生諸君の学業、課外活動そして研究活動に大いに取り組んでいる状況であることを嬉しく思います。

私は本校以外でも他高専の教員そして校長として30年以上勤務しました。退職を前に改めて高専出身の学生が社会で活躍をし、かつ産業界を中心に大きな期待があることに変わりがないことを実感しています。学生（卒業生と修了生含む）諸君には若く15歳から理学と工学に興味を持ちその専門力と技術力向上を希求する姿勢を持ち続ける限り豊かな人生を送れるものと確信いたします。加えて社会が求める新しい人材像である高度情報力とグローバル力を持ちイノベータを目指す技術者と社会人になって欲しいと思います。そして高専生としてのプライドを常に持ち、楽しく誠実に生きる人生を送るとともに多様な産業や社会分野での活躍をお祈り申し上げます。

総合理工学科 先進科学系 助教 パトリック・パーマー



私は2022年4月に英語の教員として着任いたしました。当初は右も左も分からない状況でしたが、多くの教職員の皆様に支えていただき、あっという間に3年が過ぎました。現在も至らない点が多々ありますが、津山高専の皆様には心から感謝申し上げます。

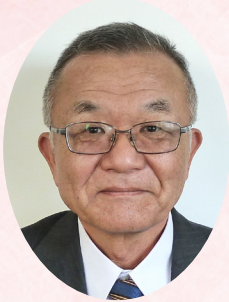
この3年間、主に英語教育や国際交流関連の業務に携わってきました。その中でも、韓国への海外研修の引率では、低学年の学生が初めて海外に渡航する際に同行し、学生たちの期待と不安が入り混じった様子、そして新たな挑戦に臨む姿に感動しました。また、卒業研究やESSの部活動を通じ、多くの学生と交流し、皆さんがそれぞれの課題に真剣に向き合って努力する姿に大いに奮い立たされました。

今年4月からは、石川県の金沢大学に着任いたします。津山高専で得た経験を、新たな環境で活かしていきたいと考えております。

学生の皆さんには、これからも様々な新しいことに挑戦し、「新しさ」を追い求めてほしいと心から願っています。

改めて、本当にありがとうございました。皆様の今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

海外展開促進 特命准教授 宇都宮 紀 雄



麗しき日々

海外展開促進という部署（主に留学生の相手をするところ）で働いておりました関係から、多くの学生さんは私のことを知らなかったと思います。しかし私のここでの日々は、本当に快適で素敵でした。ありきたりな感想にとどまってはしまいますが、少し述べさせていただきます。

この良いところは、以下の3つに集約されます。1つ目は、研究室が1つもらえたという点です。多くの職員が集う職員室の存在も別の意味では必要でしょうが、本校では個室を与えていただきました。ずいぶん助かりました。2つ目は自由度が高いという点です。自身の好きな時間に、好きなだけ研究ができました。身勝手な言い方かも知れませんが、このことは大変ありがたいことでした。最後に、学生たちが大人の対応してくれたという点です。上は20歳以上から下は15歳の者まで。しかも、一定の良識と見識をもった学生たちに囲まれ、この2年間、私は安穏とした毎日を送ることが出来ました。心からお礼を申し上げます。

本高専の益々のご発展を祈念して、私のお礼の言葉に換えさせていただきます。本当に、ありがとうございました。

総合理工学科 海外展開促進 特命准教授 中 村 ふみ子



この2年半、タイ政府奨学金留学生や世界各国の国費、私費留学生の皆様への支援といった大変やりがいのある業務に携わることができ、津山高専の国際交流関連の皆様にはとても感謝しております。支援させていただいた学生の皆様が、前向きに羽ばたいていてくれていることを寂しくもありますが嬉しくも感じております。それぞれの留学生の皆様にとって、今後も津山高専での留学生活が有意義なものになることを心よりお祈り申し上げます。日本人の学生の皆様とは、2022、2023年度における留学生の理系サポート、2023年度の1-1組副担任、2022年度からの二年半における全系横断演習Ⅱで同じ時間を共有した以外接触は多くありませんでしたが、留学生とともに充実した学校生活を送っていただけることを切に望んでおります。また、津山高専の教職員の皆様へ、大変お世話になったこと、厚く御礼申し上げます。私自身も今の気持ちを忘れないよう、津山高専からのご恩に報いられるよう、これからも精一杯頑張ってまいりたいと思います。本年2024年10月からは沼津高専制御情報工学科准教授として赴任いたしますが、IoTや地方分散型システムの社会実装を広義の目標とし、自身の研究も学生の皆様とともに進めていく所存です。

		本 科	専 攻 科
4/1	火	* 春季休業 (～4/2) * 開寮 (10:00)	* 春季休業 (～4/2)
4/2	水	* 留学生・編入生オリエンテーション (13:30) * 新入寮生荷物搬入 (～4/3) * 寮生集会 (15:00)	
4/3	木	* 入学式 (新入生、編入生、留学生)、新入生オリエンテーション * 保護者懇談会 * 入寮式 (13:30) * 北辰寮後援会定期総会 (14:15) * 新入寮生と寮上級生との対面式 (19:40)	* 入学式 * 専攻科説明会 (保護者向け) * 2年生オリエンテーション * 学位申請説明会
4/4	金	* 始業式・オリエンテーション * 1年課題テスト * 寮生総会、寮生会役員認証式 (17:00)	* 新入生オリエンテーション
4/7	月	* 授業開始	* 授業開始
4/8	火	* 新入生歓迎会	
4/15	火	* 新入寮生防火避難訓練 (15:00) * 薬物乱用防止教室 (3年生)	* 専攻科入試説明会
4/17	木		* 特別研究中間報告会 (EC)
4/18	金	* 選択科目履修願提出締切 (学外実習除く)	* 特別研究中間報告会 (MS)
4/19	土	* リーダー研修会	
4/20	日	* 開校記念日	* 開校記念日
4/25	金	* 海外研修帰国報告会 (R6冬・春) (16:20～17:20)	
5/10	土	* 美作総体 (10～11日)	
5/12	月		* 校外実習・長期インターンシップ説明会
5/13	火	* 学生総会 (14:40～)	
5/14	水	* スポーツ大会 (21日予備日)	* スポーツ大会 (21日予備日)
5/17	土	* 寮祭 (晩祭)・夕食バイキング	
5/19	月	* 授業公開週間 (19～23日)	* 授業公開週間 (19～23日) * 推薦入試
5/21	水	* スポーツ大会 (予備日)	* スポーツ大会 (予備日)
5/22	木		* 推薦入試合格発表
5/23	金	* 授業参観日	* 授業参観日
5/29	木		* 特別研究テーマ発表会 (EC)
5/30	金	* 本科補講日	* 特別研究テーマ発表会 (MS) * 学修総まとめ科目履修計画書校内締切 (2年生)
5/31	土	* 県総体 (5/31～6/1)	
6/2	月	* 前期中間試験 (2～6日)	
6/3	火		* 学力入試・社会人特別入試願書受付 (3～7日)
6/10	火	* 救急処置実技講習会 (15:00) * 北辰寮防火避難訓練 (19:40)	
6/16	月		* 学力入試・社会人特別入試

		本 科	専 攻 科
6/17	火	* 2～5年第1回単位認定試験 (6月17日～7月8日)	
6/18	水	* 1年校外教育 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか) * 2年工場見学 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか)	
6/19	木	* 4年工場見学 (6/19, 26, 7/3, 10のいずれか)	
6/20	金	* 中国地区高専体育大会参加説明会	* 学力入試・社会人特別入試合格発表 (9:00)
6/25	水	* 1年校外教育 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか) * 2年工場見学 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか)	
6/26	木	* 4年工場見学 (6/19, 26, 7/3, 10のいずれか)	
7/1	火	* 中国地区高専体育大会壮行会	
7/2	水	* 1年校外教育 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか) * 2年工場見学 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか)	
7/3	木	* 4年工場見学 (6/19, 26, 7/3, 10のいずれか)	
7/4	金	* 休講 * 中国地区高専専門学校体育大会 (夏季大会) (7月4～6日)	* 休講
7/8	火	* 寮生スポーツ大会 (8～10日)	
7/9	水	* 1年校外教育 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか) * 2年工場見学 (6/18, 25, 7/2, 9のいずれか)	
7/10	木	* 4年工場見学 (6/19, 26, 7/3, 10のいずれか)	
7/22	火	* 5年生 TOEIC-IP 試験	* 2年生 TOEIC-IP 試験
7/24	木	* 金曜日の授業	* 金曜日の授業
7/25	金	* 補講日	* 補講日
7/28	月	* 前期末試験 (28日～8月1日)	* 前期末試験 (28日～8月1日)
8/1	金	* 寮一斉清掃 (16:00) * 入寮説明会 (前期・通学生向) (16:30)	
8/9	土	* 閉寮 (15:00) * 閉寮点検	
8/12	火	* 夏季休業 (12日～9月22日)	* 夏季休業 (12日～9月22日)
8/19	火	* 4年次編入願書受付 (19～21日)	* 前期成績締切 (12:00)
8/20	水	* 臨時開寮開始 (10:00)	
8/22	金	* オープンキャンパス2025 (22～23日) * オープンキャンパス寮見学 (22～23日)	
8/24	日	* 臨時開寮終了 (10:00)	
9/1	月	* 4年次編入学試験 (本試験)	
9/8	月	* 4年次編入学試験 (本試験) 合格発表 (9:00) * 4年次編入学試験 (追試験)	
9/15	月	* 開寮 (10:00)	
9/16	火	* 特別補習期間 (16～22日) * 4年次編入学試験 (追試験) 合格発表	
9/23	火	* 夏季休業終わり * 寮生部屋替え (後期)	* 夏季休業終わり

		本 科	専 攻 科			本 科	専 攻 科
9/24	水	*全校集会・HR(1・2限) *後期授業開始 *留学生と語る会(16:30) *寮生総会(19:40)	*後期授業開始 *校外実習報告書提出締切 (含長期インターンシップ報告書)	12/26	金	*冬季休業(26日～1月6日) *仕事納め *閉寮(15:00) *閉寮点検	*冬季休業(26日～1月6日)
9/29	月	*寮生指導者研修会, 寮務委員と寮生会との懇談会(19:40)		1/5	月	*仕事始め	
9/30	火	*寮生スポーツ大会(30～10月2日)		1/6	火	*冬季休業終わり *開寮(10:00)	*冬季休業終わり
10/2	木		*校外実習・長期インターンシップ報告会(EC)	1/7	水	*授業開始 *寮生集会(16:30)	*授業開始
10/3	金		*後期履修届締切(1、2年生)(17:00) *校外実習・長期インターンシップ報告会(MS)	1/8	木	*寮生スポーツ大会(8～9日)	
10/4	土	*保護者懇談会・学校説明会		1/14	水	*推薦入学者選抜試験(本試験)(臨時休業日)	*臨時休業日
10/5	日	*保護者懇談会・学校説明会		1/20	火	*3年生TOEIC-IP試験	*1年生TOEIC-IP試験
10/8	水	*秋季スポーツ大会(22日予備日)		1/22	木		*特別研究発表会(EC)
10/14	火	*授業公開週間(14～20日) *寮生教養講座(15:00)	*授業公開週間(14～20日)	1/23	金		*特別研究発表会(MS)
10/20	月	*授業参観日	*授業参観日	1/24	土	*全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト(24～25日)	
10/21	火	*北辰寮防災訓練(地震対応)(19:40～)		1/27	火	*補講日	*補講日
10/22	水	*秋季スポーツ大会(予備日)	*秋季スポーツ大会(予備日)	1/28	水	*後期末試験(28日～2月3日)	*後期末試験(28日～2月3日)
10/23	木	*3年合宿研修(23～24日)		2/5	木	*寮一斉清掃(15:00) *退寮説明会(15:30)	
10/30	木	*月曜日の授業	*月曜日の授業	2/7	土	*学力入試準備	
10/31	金	*休講(弥生祭準備)	*休講(弥生祭準備)	2/8	日	*学力入学者選抜試験(本試験)	
11/1	土	*弥生祭(1～2日) *中学生向け進路相談会(1～2日)	*弥生祭(1～2日)	2/9	月	*臨時休業日	*臨時休業日
11/3	月	*寮生保護者連絡会 *北辰寮後援会役員会		2/12	木	*月曜日の授業	*月曜日の授業 *情報交換会(2年生) *学修総まとめ科目成果の要旨校内締切(2年生)
11/4	火	*弥生祭片付け(休講)	*弥生祭片付け(休講)	2/13	金	*全校集会 *清掃(全学年) *選択科目単位認定願提出締切(1、5年)(17:00)	
11/11	火	*1年生GTEC for STUDENTS試験		2/16	月	*特別補習期間(16～20日)	
11/15	土	*中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会)(15～16日)		2/20	金		*特別研究報告書締切
11/18	火	*2年生GTEC for STUDENTS試験		2/22	日	*学力入学者選抜試験(追試験)	
11/20	木	*補講日(1、2限は9月24日の振替)		2/24	火	*特別教育期間(24日～3月13日)	
11/21	金	*後期中間試験(21～28日) *月曜日の授業	*月曜日の授業 *進路活動報告会	2/26	木	*選択科目単位認定願提出締切(2～4年)(17:00)	
11/22	土	*中国地区高等専門学校体育大会(冬季大会) 22日		3/1	日	*入学手続き会(1回目)	
12/2	火	*2～5年第2回単位認定試験(2～16日) *入寮説明会(後期・現通学生向)(15:00)		3/8	日	*寮生会活動報告会(10:00) *北辰寮後援会役員会(11:00) *閉寮(15:00) *閉寮点検	
12/4	木	*入寮説明会(19:40)		3/13	金	*卒業式	*修了式
12/9	火	*寮一斉清掃(16:00)		3/16	月	*学年末休業(16～31日)	*学年末休業(16～31日)
12/23	火	*4年生TOEIC-IP試験					
12/24	水	*金曜日の授業	*金曜日の授業				

※予定の変更が生じる可能性があります。
最新の行事予定は本校のホームページ
にてご確認ください。

